# 令和８年度ふかさわミル保育園　事業計画

【事業計画の概要】

**基本理念　《子どもが子どもらしく生きる》**

○　平和な社会の創造
○　自立と共生（**主体的に自他に関わる**）　法人理念
○　おとなも子どもも明るく・楽しく・朗らかに**“みんなが笑顔になれる保育園”**　園の理念

**長期計画（ネクスト３か年計画の１年目）**

○　職員育成３か年計画（令和５～7 年度）を実施したことで、新卒職員の育成及び離職率の低下という目標を達成できた。しかしながら、今年度からも新たに人事異動により保育主任の交代や新人層の育成等、３年前と同様の課題が見えていることから、ネクスト３か年計画を策定。

| | ステップ１<br>（想定：１年目） | ステップ２<br>（想定：２年目） | ステップ３<br>（想定：３年目） | |
|---|---|---|---|---|
| フェーズ | 『守』<br>『種を蒔く』 | 『破』<br>『育てる』 | 『離』<br>『収穫する』 | |
| 既存職員の立ち位置 | ○**既存職員のリードが生命線**<br>（気負わず欲張らず、自分がやっていることを同僚と確認し合い、後輩に教えながら、自分の頭の中を整理・定着させる） | ○既存職員は新人職員がリードする保育の**サポートに回る**とともに、その過程で自らが得た新しい気づきを、足元の保育に反映させる、または書き留めておく | ○既存職員はチーム全体の保育に「**余裕**」「**余白**」を感じられるよう、働きかける。また、自らが余裕を感じられるようになる<br>○前年度の気づきを少しずつ足元の保育に還元する | ○相互が協働して、自分たちの保育に「**楽しさ**」「**チャレンジ**」を**プラス**していく |
| 新人職員の立ち位置 | ○新人職員は、先輩の動きを**見て真似て主体的に学ぶ**<br>○リードをとらない分、自分がチームに貢献できることを探す | ○新人職員が**リードをとってみる**<br>（ステップ１で既存職員がやっていたことを、今度は自分主体でやってみる） | ○新人職員は、**後輩職員に教えながら、自分の頭の中を整理・定着させる**<br>○前年度やりたかったけれどやれなかったことをやってみる | |
| 保育の留意事項 | ○これまでやってきた**保育の継続・継承が第一**<br>○「縦と横がつながる日案」の定着<br>○仕事の内容に優先順位をつける（子どものためにやってあげたいけど保育のねらいに直結しない仕事はおもいきってやらない・我慢する） | ○**「つながる日案」のさらなる定着**<br>○新人・既存職員ともに自分たちの保育を”腹落ち”させる時期<br>○欲張らない・出来高や見栄えを求めない | ○常に保育のねらいから離れない<br>○仕事の優先順位について共通認識を持ち、そのうえで子どものためにやってあげたいことに少しずつ着手する | |
| 保育の継承と進取究明のバランス | 今ある保育の継承・継続 | | 自分たちの気づき・自分らしさプラス | |

**短期計画（単年度計画）・・「３M」「丁寧にみる・やってみる・日々かえりみる」**

**今年度のねらいは基本動作の徹底による保育の質の担保と、働きやすい職場の両立である。**

1

令和8年度　事業計画




～みんなが笑顔になれる保育園～
ふかさわミル保育園

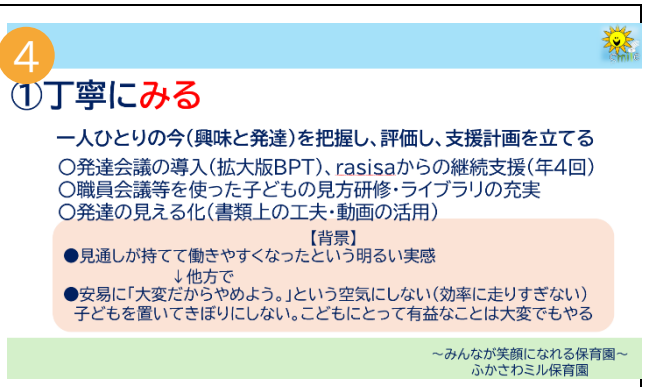
2　全体的なねらい

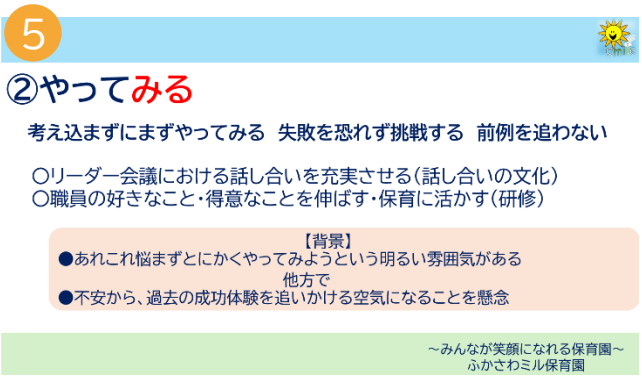
【背景】
- 新主任のスタートアップ
- 新人層（1年目4名、2年目4名）の成長支援
- 中堅・リーダー人財のブレない軸づくり

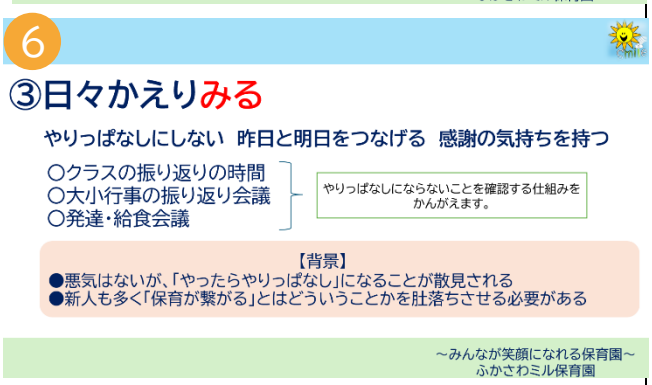
①基本動作の徹底（もう一度原点に）
②保育の質と働きやすさの両立（目指せ都内No.1）

～みんなが笑顔になれる保育園～
ふかさわミル保育園




【保育】

○ 各学年のステップ表（保育計画）を作成

○ 係（絵画・リトミック・サーキット・園庭・災害）と学年の全体計画を職員全員で作成する

○ 縦と横につながる日案の作成と評価

○ 参加する行事から参画する行事へ

○ ３大デー（絵画デー・サーキットデー・リトミックデー）の継続実施

○ STEM の更なる拡充

○ 楽しい園庭の強化

【食育】

○「**食べたいものを　食べたい分だけ　楽しく食べる**」セミバイキング形式の給食

・一緒に食べる友達、食べはじめの時間、食べたい場所を選ぶ

・異年齢で食べることを楽しむ

・食べることと保育を直接つなげる（職域を超えた保育の共有）

○**畑（生産緑地）で野菜を一から育てる**体験（幼児クラス）

○食べる力を保護者に共有する（乳児クラス　**もぐもぐの日**。年３回）

【地域との交流・子育て支援】

○入園見学会に合わせて**子育て家庭の保育園体験会**の実施

○近隣の高齢者施設との交流再開

○地域の子育て家庭・保護者を繋ぐ絵本交換会の実施

【業務効率化】

○保育に関する **ICT ツール（ルクミー）**の更なる活用

以下の目的のために保育アプリやスマートフォン等の ICT ツールを活用する

・保護者との連絡の重複・漏れ・行き違いをゼロにして、**保護者の負担を軽減**する

・園からの**情報発信をスピーディー**にし、かつ**職員の事務負担を軽減**する

○**業務内容のさらなる棚卸**（仕事の優先順位に基づく取捨選択）による保育士の仕事量見直し

・保育のねらい実現にとって間接的な、いわゆる過剰包装を避け、**ポイントを押さえた**保護者

発信や壁面装飾に体質を変えていく。
・保育の**ねらいに照らした業務の見直し**を行い、今のねらいに合致しなくなった従来の取組みについては整理・廃止していく

【保育計画のポイント】

**保育の方針　《私は私。でも、私は私たちの中の私。》**
○ 「保育所保育指針」から離れない保育（子どもの発達に関する理解を随時確認）
○ 個人の特性・発達・興味に合った保育環境の設定を心がける（発達表に捉われすぎない）
○ 課題に対する出来高を求めたり、完成度を極めたりしない、欲張らない
○ どんな小さなことでも常に自分たちが立てた“保育のねらい”を意識する
職員間の共通認識を図るために、こまめで丁寧なコミュニケーションを取り合う

【保育の方法】

**見守る保育**
保育の目的を実現するために、私たちは、環境を通して子どもの発達を保障する。これは、子どもの自ら発達しようとする力を引き出し、可能な最大限度まで発達させることを意図した環境を用意した保育を行う。

**１．生活と遊び・ゾーンとコナー保育**
子どもが自発的・意欲的に関われるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な活動を大切にする。

**２．一斉保育から選択する保育**
子ども一人ひとりの発達について理解し、一人ひとりの特性に応じ、発達の課題に配慮して保育する。

**３．シティズンシップ**
子どもは、多様な大人、子ども同士の体験から、社会を学んでいく。

**４．見守る保育**
保育者は、子どもが自発的、主体的、多様な人との関係の中で活動するために、いつでも駆け込める信頼できる存在でいること。

**５．異年齢児保育**
子ども同士の中で刺激し合うということから、様々な年齢との関わりを保障する。（見て、真似て、関わって、教わって、教えて、一緒にやって）

**６．チーム保育**
子どもは、職員のチームによって、多様な社会との関わりを学習する。

**７．インクルージョン保育**
子どもを、男女、しょうがい、年齢による刷り込みを持たない。

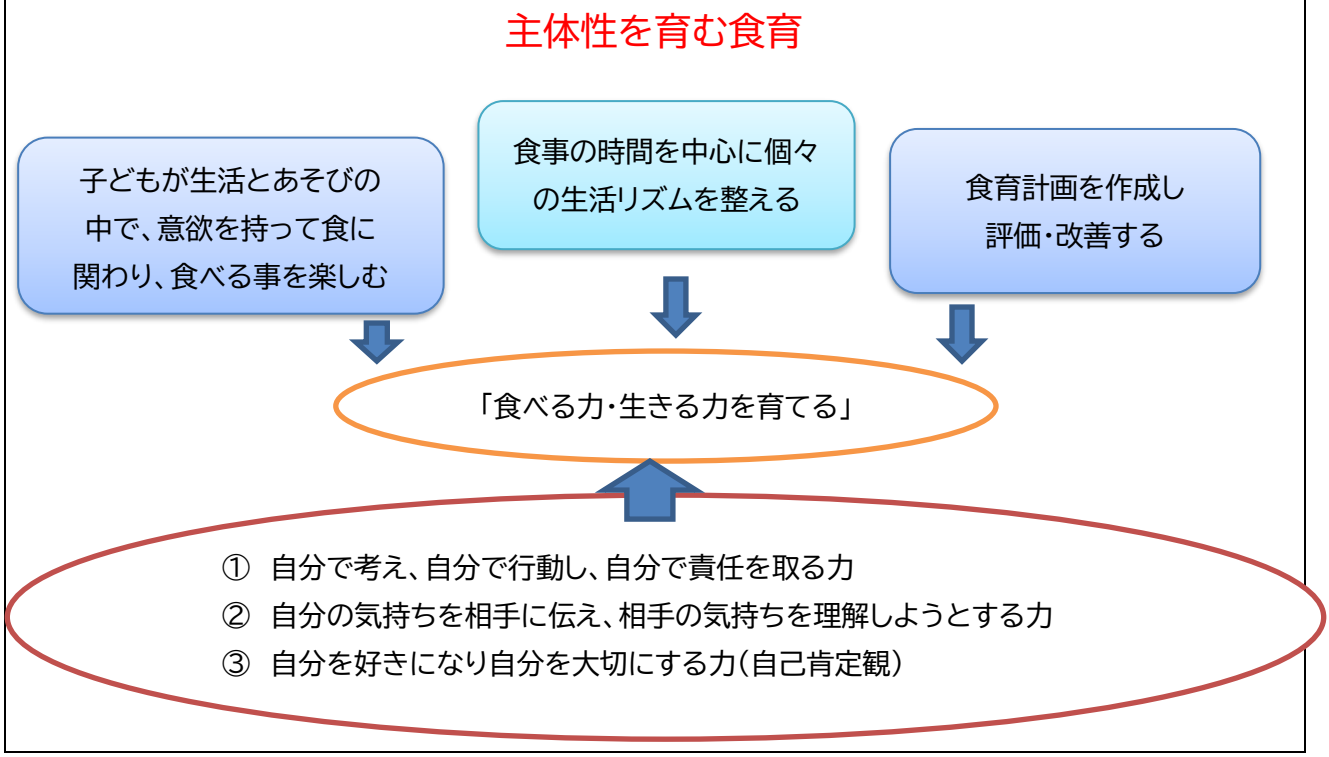
**８．やってあげる保育から見守る保育へ**
子どもを自立していくこと、自己の意思を表現することを保育者は妨げない。

**９．保育者の人権**
保育者は、子どもに奉仕したり、世話をする人ではなく一人の人格を持った人として子どもと共に生活する。

**１０．　保育の原則**
乳幼児基本法に則った保育を展開する。

【食育計画のポイント】

一人ひとりを大切に　「食を営む力」の基礎を培う
保育園の全職員で共通意識をもってかかわる




【保健計画のポイント】

○子ども一人ひとりの健康の保持・増進、安全の確保に努める。
・子どもの健康状態や発育、発達状態について、常に把握する。
・日常の健康観察を重視し、速やかな対応措置を行う。
・定期健康健診　（嘱託医）　年２回（６月プール前健診・１１月内科健診）
・乳児健診　（嘱託医）　毎月　（年１２回）
・歯科健診　（嘱託医）　６月　（年　１回）
※健康診断結果の保護者への通知・掲示
・入園前健診　（嘱託医）
・身体測定　（看護師）　毎月　（年１２回）

○保健衛生に関する情報発信
・予防接種の確認と呼びかけ　随時
・保健だよりの発行　毎月
・感染症疾患状況の把握・掲示　随時
※保護者が相談しやすい環境・雰囲気を整備する

○園舎内の衛生管理
・清潔な環境を整備・維持する
○職員の健康管理
・職員及び保護者が相談しやすい環境を心がける
・職員健康診断の実施
・職員細菌検査の実施
・インフルエンザの予防接種
・麻疹等疾患・予防接種等の把握（自己申請による補助）
・ストレスチェックの実施
※危機管理マニュアル及び危機管理年間計画表を職員で検討・評価する
（レクリエーションや勉強会を十分にとり、働くことの楽しさを感じ、自分の存在を

他の職員に認めてもらえるような関係性の構築の環境を整える）
・新型コロナウイルス感染症対策
・感染状況の把握と報告
・リアルタイムの情報発信
・消毒、登園時・食事前の検温、健康観察　等

【地域との連携】

✾幼稚園・保育園・小学校との連携・・・みしまの森学舎活動に参加
✾ボランティア受け入れ・・・地域への発信
✾養成校との連携・・・積極的な実習生の受け入れ・学生及び教諭との交流
✾地域への活動・・・畑からの発信

【社会貢献計画】

〇地域子育て家庭を支援するための情報交換会を実施
〇非常時における AED 無料貸し出しの実施

【保護者への配慮】

〇保育参観及び保育参加・行事等通して、保育の理念・方針等をていねいに発信していく。
〇問題解決においては、１対１の対応と１対多の対応の多様化を図り、チームでの対応を円滑に行えるよう、通常より情報の交換を密に行う
〇ルクミーの導入
〇視診・引き渡しの職員を固定

【研修計画】

保育の質向上への重点ポイント
園庭改造
＊園内研修・・・感染症・エピペン研修・世田谷ブロック栄養士研修
＊外部研修・・・世田谷区主催研修、ギビングツリー・子ども保育環境研究所・防災管理者研修
＊キャリアアップ研修・・・各種団体主催研修

【防災対策】

非常時に備えて全職員が一体となって、危機管理及び防災対策について日常業務に緊張感を持って従事し、緊急時には、報告・連絡・相談などを機敏に行う。そのために私たちは次のような計画を作成し実施する。
☆避難訓練・消火訓練（年間計画に従い毎月１回以上行うものとする）
☆起震車訓練
☆防犯訓練（不審者訓練：年２回以上）
☆隣接施設との合同訓練
☆広域避難所にての訓練及び引き渡し訓練（震災を考える日）

【第三者評価】

令和１０年度実施予定（令和 7 年度実施済み）

【自己評価】

| |
|---|
| 保育の質を高める事を目的に人事考査と合わせて自己評価を行う。また、年度末には全職員が参加して施設自己評価を行う。施設自己評価についてはホームページに記載する。 |

【修繕計画】

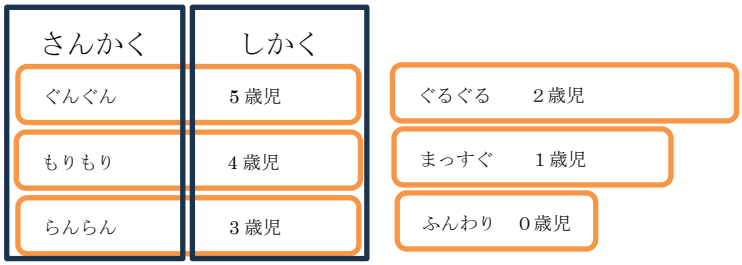
| 内　　容 | 時　　期 | 金　　額 |
|---|---|---|
| 屋上ウッドデッキ更改 | 5 月 | ¥4,500,000 |
| 厨房食洗器更改 | 10 月 | ￥2,000,000 |

【物品・設備備品購入計画】

| 内　　容 | 時　　期 | 金額 |
|---|---|---|
| 災害備蓄用物置 | 6 月 | ￥1,000,000 |
| 職員業務用スマートフォン（6 台） | 7 月 | ¥432,000 |

【園児構成】

| 年齢 | 4 月在籍数 | 途中受入数 | クラス編成 |
|---|---|---|---|
| 5 歳児 | 2 3 | 0 | |
| 4 歳児 | 2 3 | 0 | |
| 3 歳児 | 1 8 | 5 | |
| 2 歳児 | 2 3 | 0 | |
| 1 歳児 | 1 8 | 0 | |
| 0 歳児 | 1 0 | 0 | |




【年間行事計画】

| 月 | 計　　画 | 月 | 計　　画 |
|---|---|---|---|
| 4 月 | ウェルカムパーティ | 10 月 | みんなであそぼう |
| 5 月 | 保育参加・個人面談開始　保護者会 | 11 月 | 園外保育・保育参観・ハロウイン |
| 6 月 | 歯科健診・プール前健診・流し素麺 | 12 月 | クリスマス点灯式 |
| 7 月 | 七夕 | 1 月 | お正月・うたっておどって・ |
| 8 月 | 商店街ごっこ | 2 月 | 節分・もちつき |
| 9 月 | 震災を考える日 | 3 月 | ひなまつり・お別れ会・お別れ遠足 |
| | | | 卒園式 |

定例の行事

| | |
|---|---|
| 各月 | 誕生日会、身体測定、乳児健診、災害訓練 |

令和8年度（更新：令和8年8月）

# 保育安全計画

| 施設名 | ふかさわミル保育園（社会福祉法人菊清会） |
|---|---|

## 1　施設内における乳幼児の安全確保に関する留意事項

| 時期 | 4月～6月 |
|---|---|
| □保育室内の環境整備（出入口・家具・壁・床・窓等）□プールの点検・救命救助訓練<br>□避難経路・防火設備の確認**□チャイルドマウス点検**　□誤嚥時の救命訓練（消防署）<br>□散歩コース、散歩先公園（駒沢公園・宮前公園）の点検**□午睡中の明るさ（照度計活用）** | |
| 時期 | 7月～9月 |
| □プール・水遊び中の職員の配置の確認・監視担当者は監視に専念<br>□水遊び中の避難訓練　**□午睡中の明るさ（照度計活用）□チャイルドマウス点検**<br>□熱中症指数計を用いた暑さ指数の実測モニタリング（危険⇒園庭屋上活動即中止） | |
| 時期 | 10月～12月 |
| □台風対策　　□柔道の受け身を使った安全な転び方講座受講**□チャイルドマウス点検**<br>□散歩コース、散歩先公園（駒沢公園、夢見が埼動物園）の下見・点検<br>□サーキット遊具の点検　□午睡中の明るさ　**□保育室内の環境整備** | |
| 時期 | 1月～3月 |
| □階段・廊下・下駄箱・トイレ・屋上（ウッドデッキ）<br>□園舎・園外の点検（園庭・門扉・外壁・地下ピット等）<br>□冷暖房設備の点検　**□チャイルドマウス点検** | |

## 2　地震、火災等の災害発生時における対処方法等

□災害時マニュアル（業務マニュアル）策定　□水消火器を用いた初期消火訓練
□上記マニュアルに基づく災害（地震・火災・台風）時避難訓練実施（毎月）
□広域避難場所への避難訓練及び引取・引渡訓練の実施
□防災ヘルメット・避難リュック・災害用備蓄の点検
□災害用備蓄品（食料・水・簡易トイレ・ライト・バッテリー等）の整備**□備蓄場所の再考**

## 3　乳幼児の午睡時の留意事項

□職員間の役割分担の確認　　□身体拘束・窒息に繋がる物の除去
□児童の傍から離れない　　□担当者は午睡見守りに専念（他の仕事をしない）
□顔色・呼吸の確認（部屋の明るさ）□午睡記録用端末の常時充電・壁への備付
□SIDSチェック（ルクミー）の徹底（バッジの適正な取付位置）
□仰向け寝の徹底　□監視者は端末から離れない（肩掛けベルト活用）

## 4　乳幼児の食事時の留意事項

□安全な食べさせ方・介助方法（業務マニュアルの徹底）
□誤嚥防止のための注意点の確認
□離乳食・通常食・アレルギー対応食の検食実施
□アレルギー児への食事介助方法の徹底**（1歳児クラス1名、幼児クラス2名）**
□給食会議における個人別配慮事項の職員間共有

## 5　プール活動や水遊び時の留意事項

□監視体制の徹底（常に保育者とは別に監視者を立てる。監視者は監視に専念）
□暑さ指数、気温・水温によるプール活動実施可否の判断、指数計アラート順守
□水遊びの遊具の安全点検　**□こまめな水分補給、熱中症対策（体調確認）**
□プールの水質の確認
□着替え時等のプライバシー配慮（目隠しテントの設置・男女別着替え）

## 6　外出（散歩等）時の留意事項

| 時期 | 4月～６月 |
|---|---|

□散歩ルートの安全点検　□散歩リュックの点検　□散歩チェックシート徹底
□散歩先の安全点検・危険個所の確認　□虫刺され対策の実施
□お散歩先での不審者発生時の対応確認□散歩先での怪我・発熱等への対応方法確認

| 時期 | 7月～9月 |
|---|---|

□熱中症防止のため、基本的に外出（散歩等）は行わない。
□夕方の涼しい時間帯における園庭での虫刺され対策

| 時期 | 10月～12月 |
|---|---|

□園外保育先（夢見が埼動物園等）の危険個所の確認（現地下見の実施）
□虫刺され対策の実施
□散歩ルート・散歩先の点検（使用禁止箇所等がないか）

| 時期 | 1月～3月 |
|---|---|

□散歩ルート・散歩先の安全点検
□散歩リュックの確認

## 7　乳幼児への安全指導の方法・内容等

| 時期 | 4月～6月 |
|---|---|
| 乳児・１歳以上３歳未満児 | ３歳以上児 |
| □SIDS対策指導（対保育士）<br>□お散歩中の交通安全指導<br>□戸外遊び中の指導（公園遊具等での転倒・転落防止）**□チャイルドマウス対策**<br>□消防士による救急救命講座全員受講 | □お散歩中の交通安全指導<br>□戸外遊び中の指導（公園遊具等での転倒・転落防止）<br>□お散歩先での不審者訓練<br>□消防士による救急救命講座全員受講 |
| 時期 | 7月～9月 |
| 乳児・１歳以上３歳未満児 | ３歳以上児 |
| □水遊びでの事故防止指導<br>□災害時における避難訓練<br>□熱中症対策（指数計の順守）<br>□チャイルドマウス対策 | □プール遊びでの事故防止指導<br>□災害時における避難訓練（プール活動中）<br>□熱中症対策（指数計の順守） |
| 時期 | 10月～12月 |
| 乳児・１歳以上３歳未満児 | ３歳以上児 |
| □SIDS対策指導（対保育士）<br>□お散歩中の交通安全指導<br>□戸外遊び中の指導（公園遊具等での転倒・転落防止）□チャイルドマウス対策<br>□感染症対策指導（うがい・手洗い） | □お散歩中の交通安全指導<br>□戸外遊び中の指導（公園遊具等での転倒・転落防止）<br>□感染症対策指導（うがい・手洗い） |
| 時期 | 1月～3月 |
| 乳児・１歳以上３歳未満児 | ３歳以上児 |
| □SIDS対策指導（対保育士）<br>□お散歩中の交通安全指導<br>□戸外遊び中の指導（公園遊具等での転倒・転落防止）□チャイルドマウス対策<br>□感染症対策指導（うがい・手洗い） | □お散歩中の交通安全指導<br>□戸外遊び中の指導（公園遊具等での転倒・転落防止）<br>□感染症対策指導（うがい・手洗い） |

## 8　職員への訓練・研修におけるテーマ・取組

| 時期 | 4月～6月 |
|---|---|
| ・キャリアアップ研修の受講（対象者のみ）<br>・外部研修の受講（世田谷区・ギビングツリー）<br>・職員会議を利用したファシリテーション研修（職員相互理解） | |
| 時期 | 7月～10月 |
| ・キャリアアップ研修の受講（対象者のみ）<br>・外部研修の受講（世田谷区・ギビングツリー）<br>・職員会議を利用したファシリテーション研修（育ってほしい子どもの１０の姿） | |
| 時期 | 10月～12月 |
| ・キャリアアップ研修の受講（対象者のみ）<br>・外部研修の受講（世田谷区・ギビングツリー・オンライン乳幼児講座）<br>・職員会議を利用したファシリテーション研修（発達会議内容のフィードバック） | |
| 時期 | 1月～3月 |
| ・キャリアアップ研修の受講（対象者のみ）<br>・外部研修の受講（世田谷区・ギビングツリー）<br>・職員会議を利用したファシリテーション研修（発達会議内容のフィードバック） | |

## 9　その他、乳幼児の安全確保に向けた取組み

〇職員による目視確認に加え、午睡モニター（傾き検知）による横向き・うつぶせ寝状況のリアルモニタリングを実施　〇学校１１０番　〇自動火災通報システム　〇SECOM
〇年2回の不審者訓練実施（不審者撃退スプレーの設置、**職員全員参加のデモ演習**）
〇AEDの設置、消防隊員による救命救急講習の職員受講
〇施設内外セキュリティカメラによる24時間365日録画（怪我発生状況の事後確認）

## １０　乳幼児の安全確保についての保護者への説明方法等

〇毎月発行のおたより配信のほか、保護者会や毎日の送迎の際の掲示による発信
〇保護者や職員の声を随時反映（**赤字が新規追加項目**）
〇この保育安全計画をWEBサイトで公開・年度更新（事業計画と一緒に）。